平成３０年度 日本大学量子科学研究所 研究報告会プログラム

日時：2018 年 10 月 27 日（土） 10:45 ～ 16:00

場所： 日本大学　理工学部　タワー・スコラ S202 教室

主催： 日本大学 量子科学研究所　（ http://www.quant-ph.cst.nihon-u.ac.jp/ ）

受付　10:00 – 10:45

開会の挨拶	岡田　章（量子科学研究所所長）	10:45 – 10:50
量子科学研究所の紹介	出口真一（量子科学研究所次長）	10:50 – 11:00

研究報告

セッションⅠ：加速器科学

座長：TBD（日大・量科研）

11:00 – 11:15　**「Al_2O_3(1-102)および $YAlO_3$(001)単結晶基板上に成長させた$(Cr_{1-x}Fe_x)_2O_3$ 薄膜の作製及び結晶構造解析」**
岩田展幸 [1,2]　([1] 日大・理工・電子工、[2] 日大・量科研)

11:15 – 11:30　**「非晶質リン酸カルシウム基板上での歯牙エナメル質様組織構築におけるフッ素の役割」**
飯島まゆみ、小沼一雄（産総研・健康工学研究部門）

11:30－11:45　**「日大赤外自由電子レーザーの短パルス・高ピーク出力化に向けて」**
住友洋介 (日大・量科研)

11:45－12:00　**「低温常伝導高周波空洞による超高電界加速の可能性」**
田中俊成、境武志、早川建、早川恭史、野上杏子、住友洋介、佐藤勇 (日大・量科研)

昼休憩　12:00– 13:20

セッションⅡ：量子光学・物性物理学，理論物理学

座長：TBD（日大・量科研）

13:20 – 13:35　**「巨大渦の生成およびそのダイナミクス観測に向けて」**
桑本剛（日大・量科研）

13:35 – 13:50　**「単一表面プラズモンポラリトンの量子干渉」**
井上修一郎、行方直人（日大・量科研）

【　裏面に続く　】

NU-IQS Annual Meeting 2018

13:50－14:05　**「Ads/CFT 対応における弦の量子補正の研究」**
三輪光嗣 [1,2]（[1] 日大・理工・物理、[2] 日大・量科研）

14:05 – 14:20　**「修正された Bateman 模型に基づく減衰調和振動子の量子化」**
出口真一 (日大・量科研)

14:20 – 14:35　**「超対称性量子力学と非可換 Berry 位相」**
大谷聡 (日大・量科研)

休憩（15 分）　14:35 – 14:50

セッション III：プラズマ科学・核融合
座長：行方直人（日大・量科研）

14:50 – 15:05　**「循環型浄化システムを用いた堆積汚泥からの放射セシウム除去」**
岡本強一 [1,2]（[1] 日大・理工・海建、[2] 日大・量科研）

15:05 – 15:20　**「電磁加速型電気推進機の開発とその性能評価」**
渡部政行 (日大・量科研)

15:20 – 15:35　**「ピンチ放電による軟 X 線点光源の形成」**
高杉恵一 (日大・量科研)

15:35 – 15:50　**「GPU を利用した核融合プラズマの数値シミュレーション研究」**
長峰康雄（日大・量科研）

閉会の挨拶　出口真一（量子科学研究所次長）15:50 －16:00

NU-IQS Annual Meeting 2018